

令和7年度予算を慎重審議

3月会議は令和7年2月19日から3月18日までの期間開催されました。

その間、町の令和7年度予算に関しても審議が行われ、最終日に賛成多数で原案可決となり、新年度の予算が成立しました。

審議のうち、3月14日（金）に行われた総括質疑の内容の一部をご紹介します。

財政

質問 財政調整基金繰入金が多額となっているが、財政調整基金が減っていくことを一般的に財政危機という。

本町ではどれくらいの額で維持していく考えか。

回答 令和7年度は財政調整基金の繰入額が8億円と多額であるが、国が進めるシステムの標準化などによる一時的なものかと捉えている。

一般的には標準財政規模の10%と言われており、本町の標準財政規模は70億円と言われているため、基金は7億円が適正と捉えるが、できるだけ積み増しをして10億円以上を維持したい。

質問 団体補助金や交付金を見直すとあったが、実際に減額となった団体はあるか。

回答 補助金の対象経費の中に人件費を含む団体が多くあり、現実的に大きく減額となった団体はなかった。財政援助団体への補助などは、今後も継続して見直していく。

職場環境

質問 近年、町職員の退職が増えていると感じるが、職場で職員がやりたいことを後押ししたり、抱えている悩みを引き出したりできるような相談体制、環境整備の考えはあるか。

回答 部署ごとに上司と部下がしっかりとコミュニケーションをとり、組織全体で取り組んでいく。



交通安全

質問 煙山小学校付近に設置したゾーン30プラスの効果は。

回答 効果は大変大きいと捉えている。今後、道路交通法が改正され、中央線がない道路は30^キ制限にするという報

道もあり、ゾーニングの考え方については法改正後の様子も鑑みながら検討していく。



広報

質問 広報の媒体が複数ある中で、何に重点をおいて広報活動に取り組む考えか。

回答 まずは、さまざまな媒体の周知を図っていききたい。また、各種まつりの時期は町ホームページの閲覧が多い傾向にあることから、その時期に特集記事を組むなど工夫を凝らしていきたい。

YAHABA TOWN

やはナビ! アプリのダウンロードはこちら



AppStore



GooglePlay

ふるさと納税



葛巻町との共通返礼品

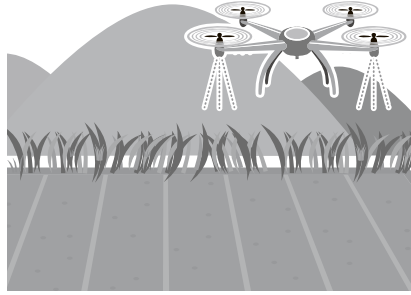
質問 ふるさと納税の目標金額2億円は、低い設定ではないか。

回答 ふるさと納税の目標金額が、令和6年度の実績が、2億600万円程度の見込みから、実績ベースで2億円を目標としているが、補正予算で増額できるよう努力する。ふるさと納税の窓口が多いほど人の目に触れ、寄付へのきっかけになることから、ポータルサイトは継続したい。

農業

質問 大きな農機やドローンを使ったスマート農業の体験ができるインターンシップのあり方は考えているか。

回答 その仕組みづくりや、機械の故障に関する補助金などについては今後検討する。



質問 農産物消費者PR事業が減額となっているが、本来の事業のねらいと、事業回数を減らした理由は。

回答 東京都での農産物販売による町のPRがねらい。地産地消を促すこと、バイヤーなどの情報交換の場の工夫により、事業回数を2回から1回に減らし、経費を削減。



質問 海外への輸出を高めるため、海外バイヤーが集まるような首都圏の農業イベントなどに積極的に参加しては。

回答 アンテナを高くして動かなければいけないと思うので、県などとも連携して考えていきたい。

福祉

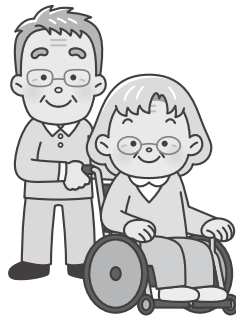
質問 令和3年度から重層的支援体制整備事業が開始され、NPO法人に委託し、フリースペースを年8回開催しているが、その後の状況は。

回答 継続して実施しており、参加者も増加傾向。訪問活動も委託で行いながら引きこもりの方への支援を続けていく。

介護

質問 引きこもりの方たちへの就労支援と、町内農家の人手不足対策を掛け合わせて考える計画はないか。

回答 現在もNPO法人を経由して、農家や農業団体の方に、引きこもりの方を紹介し農作業のお手伝いをしているケースがある。今後も継続して取り組んでいく。



質問 老老介護も増加していく中で、要介護3判定の方でも特別養護老人ホームに入所できないという。この状況はどう捉えているか。

回答 希望するすべての方が老人ホームへ入所するのが難しい時代。今後は在宅医療や在宅介護が重要になると捉えており、取り組みを検討していく。

いきたい。

また、認知症予防対策・支援にも力を入れたい。

質問 ショートステイの充実についての考えはあるか。

回答 在宅と施設の間であるデイサービスやショートステイなどもしっかりと機能するような仕組みづくりも、今後考えていきたい。

地域

質問 今後の敬老事業は、地域の世代間交流の場とするためにも見直すべきではないか。

回答 さわやかハウスの活用も図りながら検討したい。モデルとなるコミュニティがあれば一層推進されていくと思うことから地域コミュニティの協力も得たい。

質問 予約型乗合バスの停留所の見直しやシステムの再検討が必要ではないか。

回答 必要と捉えている。地域の方の声を大切にしながら総点検して取り組んでいく。

国際交流

質問 フリモント町への中高生派遣事業では9名の募集を予定しているとのことだが、渡航費などの負担も大きい。誰でも応募できるよう、募金などを検討してはどうか。

回答 町のイベントなどで募金箱の設置ができないか検討する。また、国際交流協会と協議しながら進めていきたい。



令和6年度フリモント町を訪問